

キンダーブック じゅにあ 12月号



かわいい帽子をかぶってにっこり笑顔のちゅうくん。くまさんの帽子とおそろいですね。ケーキやジュース、風船も用意して、お楽しみパーティーの始まりです！「みんなは何が食べたいかな？」などと問いかけて、話題を広げてよいですね。



ぴかぴか きもちいいね

ねらい 自分でつけた物はもとの場所に戻す習慣をつけましょう。

「お片づけの時間になったね。ちゅうくんたちは積み木や絵本をどこに片づけるのかな？」と問いかけて、みんなで考えてみましょう。「みんなはおもちゃで遊んだ後は、もどに戻しているかな？」と尋ね、つけた物はもとの場所に戻すことを意識できるとよいですね。



ちゅうくんたちがおもちゃを片づけるようすを見て、部屋がきれいになったことに注目しましょう。「きちんと片づけて、お部屋がきれいになると気持ちいいね」と話して、次に同じおもちゃで遊ぶときにつかやすいことにも気がつくよう伝えてください。



おじいさんと ものまねこぞう

ねらい ものまねこぞうがどんな存在なのか、物語を読みながら想像してみましょう。

つかい方のポイント 「おじいさんからお餅をもらったものまねこぞうは、どんな気持ちかな？」と考えてみましょう。ものまねするときの擬音を、いっしょに声に出して読んでもよいですね。



はばたけ つる！

ねらい 渡り鳥について知り、鶴に興味をもちましょう。

つかい方のポイント 「動物園や絵本で鶴を見たことはあるかな？」と問いかけて、「大きな羽で飛んできたんだね」と、海を渡ってきた渡り鳥だということも伝えられるとよいですね。片足立ちのポーズをまねしてみても楽しそうです。



「キンダーブックじゅにあ」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
「ぴかぴか きもちいいね」	- おもちゃをもとの場所に戻す。 - 部屋がきれいになり心地よいと感じる。	- いっしょに片づけを行い、遊び終わったおもちゃをすぐにもとの場所に戻すことが習慣として身につくように、繰り返し伝える。 - おもちゃをていねいに扱うように伝え、手本を見せる。子どものように応じて、手伝ったり見守ったりするなど支援の方法を変える。 - 常に部屋をきれいな状態に保つように心がける。 - おもちゃを片づけ終わったときに、「お部屋がきれいになったね」など前向きなことばで伝える。	健康 人間関係 環境
「はばたけ つる！」	- 渡り鳥について知り、興味をもつ。 - 鶴に興味をもつ。 - 鶴の動きをまねする。	- 誌面やほかの絵本・図鑑などを用いて、渡り鳥の種類や、季節によって棲む場所を変えることをわかりやすく伝える。 - 鶴はお正月の絵によく描かれていることも伝え、絵と誌面の写真を見比べながら、からだの特徴について具体的なことばにする。 「鶴はどこで見ることができるかな？」「何を食べるかな？」などと問いかけ、対話をしながらいっしょに考え、生態に興味がわくようにする。 - 誌面を見ながら、羽ばたくようすをまねしたり、片足立ちに挑戦したりする。	表現 環境